

令和4年2月伊賀南部環境衛生組合議会第211回定例会会議録

令和4年2月2日（水曜日）

議 事 日 程

令和4年2月2日（水曜日）午前10時30分 開議

日程第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 諸般の報告

第4 議案第1号 令和4年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算について
(提案理由説明、質疑、討論、採決)

第5 議案第2号 令和3年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算（第2号）に
ついて
(提案理由説明、質疑、討論、採決)

第6 議員提出議案第1号 伊賀南部環境衛生組合議会会議規則の一部を改正する規
則の制定について
(提案理由説明、質疑、討論、採決)

出席議員

赤堀 久実 柏 元三 坂本 直司 常俊 朋子 中谷 一彦
永岡 禎 西田 方計 宮崎 栄樹 幸松 孝太郎 吉住 美智子

説明のため出席した者

管理者	亀井 利克	副管理者	岡本 栄
副管理者	森上 浩伸	事務局長	日置 光昭
総務担当参事	宮崎 正秀	総務担当参事	澤田 之伸
総務担当参事	稲森 真一	総務室長	岡田 隆之
業務室長	高野 香二		

事務局職員出席者

書記長 吉岡 恵子 会書記次長 梶本 哲生

書記

西川 忠孝

書記

堀内 宏樹

午前 11 時 15 分開議

(永岡禎議長席に着く)

議長(永岡禎) ただいまから令和4年2月伊賀南部環境衛生組合議会第211回定例会
を開会いたします。

これより本会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長(永岡禎) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、西田方計議員、柏元三議員を指
名いたします。

日程第2 会期の決定

議長(永岡禎) 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本組合議会定例会の会期は、本日1日といたしたいと思ひます。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(永岡禎) ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日と決しました。

日程第3 諸般の報告

議長(永岡禎) 日程第3、諸般の報告をいたします。

監査委員から令和3年10月、11月、12月に執行した例月出納検査並びに令和3
年度執行の定期監査結果の報告を受けました。報告書は、お手元に配付のとおりであり
ます。

日程第4 議案第1号 令和4年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算について

議長(永岡禎) 日程第4、議案第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

亀井管理者。

(管理者亀井利克登壇)

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第1号、令和4年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

まず、歳出予算の主なものを申し上げます。

総務費は、人件費をはじめ事務的経費や施設管理経費など5,411万6,000円を計上いたしてございます。

次に、環境衛生費でございます。収塵車管理費は、ごみ収集業務委託や指定ごみ袋製造管理当に係る経費などごみ収集業務に係る経費であり、クリーンセンター費は、クリーンセンター運転管理委託をはじめとする施設運営経費及びクリーンセンター改修工事費などでございます。また、最終処分場費は、施設の維持管理等に係る経費及び水処理施設の更新工事費を計上し、し尿処理場費、ストックヤード管理費につきましては、それぞれ施設の維持管理等に係る経費でございます。

以上、環境衛生費の総額は17億4,500万6,000円を計上いたしてございます。

公債費は、組合債に係る元利償還金などで2億2,285万円を計上し、予備費には不足の支出に備え、500万円を計上いたしてございます。

続きまして、これらの財源となります歳入でございますが、名張市及び伊賀市それぞれにご負担いただいております。分担金は、名張市が16億1,315万4,000円、伊賀市が1億3,981万6,000円、合わせて17億5,297万円をお願いいたしてございます。

次に、使用料及び手数料では、施設への直接搬入や指定ごみ袋による廃棄物処理手数料などで2億1,830万円を計上いたしております。

また、その他の収入といたしましては、繰越金、諸収入を合わせまして5,593万円を計上いたしております。

以上、申し上げます令和4年度一般会計予算総額は20億2,720万円で、前年度と比較いたしますと4,250万円の増額となっております。

何とぞよろしくご審議を賜りまして、ご決定くださいますようお願い申し上げ、提案理由のご説明といたします。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。

質疑のほうは、赤いランプがついてからお願いいたしたいと思います。

なお、本日の質疑は会議規則第43条の規定により3回までといたします。

幸松孝太郎議員。

議員（幸松孝太郎） 先ほどの全員協議会のほうで中期財政計画の見通しのお話をさせていただいたんですけど、今回の令和4年度の予算書の26ページですけども、地方債はもう毎年2億円ぐらいの償還をしてますのでだんだん減ってまいりまして、令和4年度末の見込みでは1億5,000万円になります。これで行きますと、令和5年度では地方債、組合債、これはゼロになるのかなというふうに思わせてもらってますし、それから10年延長をしていくにおいては、やはり毎年の修繕費がどうしても必要やということで、今般の1億3,000万円の修繕、これはもうぜひやっていただかなあかんことすし、これからも10年延長するには、毎年きちっとした修繕をしていかないとたないということになりますから、その辺の計画をしっかりと出していただいて、先ほどの財政との打合せの中で、中期財政見通しのほうをしっかりとできるだけ早く我々組合議会のほうにご提示していただきたいと思うんですけども、その中期財政見通しのご提示の目標月、それからこの地方債の今後の状況、この2つについてのお考えをお願いいたします。

議長（永岡禎） 日置事務局長。

事務局長（日置光昭） まず、中期財政計画とのすり合わせでございますが、これは名張市そして伊賀市の財政当局とも打合せをさせていただくことになろうかと思いますが、一旦は今操業延長のご理解を求める説明会を進めておるところでございます。これが、いつご理解いただきまして延長ということになるかということでございますので、それが終わり次第速やかにやっていきたいというふうに思っておるところです。

そして、2点目の今後の起債残高といいますか、残りの部分でございますが、言っておりましたとおり、ごみの焼却施設、あそこのクリーンセンターの部分においては、我々の計画におきましては令和5年でもうほぼ終わる予定でございます。ただ、青蓮寺にストックヤードがございます、あれは清掃工場が終わりましてから、あそこをストックヤードにしましたので、その部分が令和8年度まで続きますが、大きな部分についてはもう令和5年度で終わってしまう予定でございます。

以上です。

議長（永岡禎） 幸松議員。

議員（幸松孝太郎） 中期財政見通しに関しては、今回の説明会が終わって打合せすると

ということですので、ぜひよろしくお願ひしたいなと思つてます。

それから今般、先ほど説明会の状況を説明していただきましたですけども、ぜひホームページのほうにもこういった内容をきちつと提示をしていただひいて、伊賀市の皆さんにしっかりと分かつていただひく、もちろん名張市民にもということですから、できるだけ早くまとめていただひいて、ホームページも出していただひくというような形をお願ひしたいというふうに思ひます。

それから、青蓮寺のストックヤード、これに関しては前回、永岡議員のほうからこのストックヤードの活用方法に関して質問があつたと思うんですけど、令和8年ということでございますけれども、できるだけこの活用に関しては前倒ししてもええんではないかなというように思ひますから、その辺のことも一度中期財政のところでも検討していただひいて、我々のほう、組合議会にもお願ひしたいなというふうに思ひます。

それから、地方債に関しては令和5年度で終わるとのことですから、毎年2億円ぐらひのことが非常に楽になるということなんです。毎年20億円近くは一般財源からクリーンセンターのほうへ来てるわけですので、減になることは非常にいいことなんですけど、全体像が見えないと、この修繕費も含めて今後クリーンセンターはどうなっていくんやということがこの組合議員にも分からないような状況では、10年延長を認めますよとか合意しますよというても、なかなかうまくいかないということがありますから、ぜひ今、私が言つた全体の流れの中で、このクリーンセンターをしっかりと10年の延長をできるような、そういった形をしっかりと中期財政に持つていって、我々にお示しをしていただひくということは非常に大事かなと思ひます。

そういった意味合ひで、今このコロナの状況の中で、ごみの収集に関しても大変ご苦労をされておるといふことはもう十分承知しておりますので、今後本当に作業をしていただひいとる皆さん含めて十分に注意をしていただひきたいわけでございますが、私も週に二、三回収集のところのごみ袋の状況を見させていただひいとるわけですけども、やはり3連休の後になるとどんと増えますよね。そういった中で、名張市っていうのは平成24年から三重県でもごみの量の一番をずっと続けておるわけなんです。ほんで、今1日当たり大体750グラム弱ぐらひで推移しておるわけなんです、全国の中で非常にすばらしいよっていう中の一つにこのごみのことが、名張市にとっては非常にすばらしいなと思つとるわけなんですけど、ただこのコロナになつてきて、有料のごみ袋も含めてこういったことが、値下げをして量がどうなっていくかについてということに関してが、なかなか我々は

分からないというようなことがありますので、先ほど全員協議会のところでも質問させてもらいましたが、ごみ収集が、今回委託費が増額になってるっていうことがあるので、その中でこのごみ袋、ごみの委託料金の手数料、こんなところの状況が見えればどうかと思って質問させていただいたんですけど、量と金額がちょっと分からなかったのもう一度ご説明いただきたいんですけど、そのご説明と、もう一つは今、燃料費、それから電気料、こういったところは、これはもうクリーンセンターだけでなく、名張の市内、全部同じですけど、どこともこれを何とか工夫しようということのみんなやってるわけです。ですから、これはクリーンセンターだけでなくって名張の市内でも必要なことですけど、その燃料費をどうこれから安く持っていくか、それから電気料に関しても、太陽光発電を含めていろんなそういう仕組みの中で、もっとやりくりができるような方法も、テレビ見とったらもう日常茶飯事なんです、SDGsのことも含めて出てきてます。クリーンセンターではSDGsの話がほとんど出ませんけども、そういったSDGsの考え方で、こういった委託料が増えていくことに関して、それからごみの量に関して、現状どうなってるんだと、4年度はどうしていくんやというようなことを含めて、袋の状況も含めてお話ししていただければありがたいかなと。

以上です。

議長（永岡禎） 岡田総務室長。

総務室長（岡田隆之） 失礼します。そしたら、私のほうからは、ごみ袋についてご説明のほうをさせていただきます。

ごみ袋につきましては、値下げをさせていただいたという経緯がございますが、令和3年度の推移を見させていただきますと、コロナの影響で容器包装プラスチックの影響がいろいろございまして、前年度、2年度より大分増えてるような形になっております。

令和4年度の計画の数量といたしましては、例年大体350万枚を作る予定をさせていただいておりますが、令和4年度につきましては400万枚を製造する形で計画をさせていただいております。そんな形になっておりますので、これは名張市分につきましてはですけども、その分につきましては、収入といたしましては大体1億円弱ぐらいを見込んでいるという形にさせていただいております。

以上でございます。

議長（永岡禎） 事務局長。

事務局長（日置光昭） 私のほうから、燃料費と電気の何か工夫をとということでございます。

これについては、クリーンセンターは灯油を助燃剤としてしております。その中においては年間かなりの部分、そして電気についてもかなりの金額について、今回も需用費でも計上をさせていただいておりますが、安定操業をすることによって、連続した操業を心がけることによって助燃料を減らしていく、ごみの均等化であったり、そのような形でしかなかかなか見いだせないところではございます。先ほどからあるように、更新工事などで少しでも有利な、そういう助燃剤や電気代が要らないような機器に変換できていけばいいなという私どもこの事務所全体の思いはございますが、それにつきましても、そういうお話を先ほどの財政のお話であったり、地域の皆さんへの操業延長であったりっていう中で、また計画的なものをお話しさせていただけるようになればというふうに考えているところでございます。

議長（永岡禎） 幸松議員。

議員（幸松孝太郎） ひとつよろしくお願ひしたいなというふうに思います。

それから、最後ですけど、現在最終処分場が1次から2次にかけていろいろ金額的に大規模な工事をやってるわけですけど、最近コロナが本当に落ち着いてきたら、クリーンセンターの今の内部の状況でありますとか、これと最終処分場、私としては一回視察をして、状況なんかも見たいなというふうに思ってますから、この組合議会で行くかどうかは別として、4月の当選してからの話なりますけれども、ぜひそういう機会も作っていただいて、現在の最終処分場の状況、これがどうなってるのかなっていうふうなところはぜひ見たい、聞きたい、そういうところですけども、もしそういう機会がなければ、最終処分場のユーチューブでもできるわけなのでお見せしていただくとか、何かそういうような形で組合議会のほうにいろいろ報告していただきたいなというふうに思っておりますけど、いかがでしょうか。

議長（永岡禎） 事務局長。

事務局長（日置光昭） いろんなやり方も含めまして、少し検討させていただいたり、ご意見をお伺いさせていただいたらと思っております。

議長（永岡禎） ほかに質疑はございませんか。

柏元三議員。

議員（柏元三） この前、火災事故で15億円ぐらいの損害を出してるわけですけど、こ

の予算では、今不燃物に関して相当丁寧な分別チェックをやっておられます。それで、こういう予算というのは、多分人件費の中でやりくりしてるんで出てきてないと思うんですけど、結局これだけの損害を出した被害者なんです、この伊賀南部の組合は。結局、市民が出した不注意なのか、不心得なのか知らないですよ、どういう表現取ったらいいか分からないですけど、結局発火物をごみの中に投入したと。これは伊賀南部ではどうしようもない問題だと思うんです。出す側の問題です。集める側の責任とは言えないですよ。

ですから、自分たちがこれだけの被害を受けたんだから、それを出した市民に対して、ということは行政に対してってことになりますかね、相当そういうのが防げるような対策を打ってほしいと、そういうことを強く要望を出すべきだと思うんです。そういうことはなさってますでしょうか。

議長（永岡禎） 事務局長。

事務局長（日置光昭） 今回の火災につきましては、先ほどからありますように入れてはならないっていうか、不適なものがリサイクルのそういう施設に入って、そこが原因で発火したということでございます。

そのようなことから、まず一つは名張市広報でしっかり入り口論として防げる手だてを、名張市また組合としてもやれることはやらせていただいと。そしてもう一つ、今回のことで、復旧に関しましてはハード的には火災に遭っても延焼を防げるようなもの、また放水などで延焼を拡大することがないようにかなり手だてをしているわけですが、分別でも小型家電を特出しにして、今まで小型家電は不燃物に入ってたわけですが、分別でも小型家電を分別品目に含めて、そして特にそれだけは別で現在集めさせていただきます。そのような手だてというのは、当然小型家電に含まれるリチウムイオン電池が怖いわけですが、そのような対策を打って、これは名張市に言うとかそういうことではなくて、伊賀市、名張市、組合、三者が一体となって防げる手だてを講じているというふうに考えているところでございます。

議長（永岡禎） ほかに質疑はございませんか。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） ないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第1号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議案第1号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第5 議案第2号 令和3年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算（第2号）について

議長（永岡禎） 日程第5、議案第2号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第2号、令和3年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算（第2号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

今回お願いいたします補正予算は、人事異動等に伴う職員人件費の精査のほか、それぞれの事業の進捗を踏まえ、所要額の精査をいたしたものでございます。

それでは、歳出からご説明申し上げます。

まず、総務費の一般管理費では、中途退職者に係る退職手当などで994万4,000円増額いたしてございます。

次に、環境衛生費の収塵車管理費では、職員人件費等の精査の一方、ごみ収集業務委託料などの委託料の増額によりまして、差引き1,058万6,000円を増額いたしてございます。

クリーンセンター費では、職員人件費のほか、クリーンセンター運転管理業務などの委託料の精査によりまして1,753万2,000円を減額いたしてございます。

最終処分場費では、職員人件費のほか、需用費及び備品購入費の精査によりまして64万5,000円を減額いたしております。

し尿処理場費では、需用費及び委託料の精査によりまして900万円を減額いたしております。

続きまして、歳入についてご説明申し上げます。

まず、使用料及び手数料は、各処理手数料の収入状況に基づき収入見込みを精査した結果、可燃ごみ処理手数料を300万円減額いたしておりますが、ごみ処理手数料の1,230万円の増額などによりまして、合わせまして970万円増額いたしております。なお、浴室使用料につきましては100万円を減額いたしております。

また、令和2年度の決算の確定に伴いまして、繰越金を3,759万8,000円増額いたしております。

諸収入では、廃品売払収入で300万円、火害復旧工事に係る保険金受入れで1,363万2,000円を増額いたしております。この結果、分担金では名張市が6,572万7,000円、伊賀市が384万6,000円それぞれ減額となり、合わせまして6,957万3,000円減額いたしております。

これらによりまして、補正後の歳入歳出総額は19億8,005万7,000円となっております。

なお、クリーンセンター費のごみ施設更新工事につきましては、令和3年度で予定いたしました2号炉2次燃焼室の更新工事を、施設の基幹改良工事での実施を視野に入れ発注を見合わせておりましたが、老朽化の進行により早急に更新を行う必要が生じました。しかしながら、今回の工事には相当の期間が必要であり、年度内での完了が困難であることから、繰越明許費の設定をお願いいたすものでございます。

以上が今回お願いいたします補正予算の概要でございます。何とぞよろしくご審議を賜りまして、ご決定くださいますようお願い申し上げます、提案理由のご説明とさせていただきます。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 質疑がないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第2号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議案第2号は、原案のとおり可決されまし

た。

日程第6 議員提出議案第1号 伊賀南部環境衛生組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

議長（永岡禎） 日程第6、議員提出議案第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

吉住美智子議員。

（議員吉住美智子登壇）

議員（吉住美智子） ただいま上程されました議員提出議案第1号、伊賀南部環境衛生組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について、提出者を代表いたしまして、提案理由の説明を申し上げます。

本議案は、本会議における議論をより明確で分かりやすくするため、質疑回数の制限を撤廃し、一問一答式での質疑を導入しようとするものであります。質疑回数の制限をなくすことで、一つの事項について質疑と答弁を続け、深く掘り下げた議論ができるようになることが期待されるものでございます。

以上、よろしくご賛同賜りますようお願いを申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 質疑がないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議員提出議案第1号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議員提出議案第1号は、原案のとおり可決されました。

議長（永岡禎） 以上をもちまして本組合議会定例会に付議されました事件は全て終了い

たしました。

これをもちまして、令和4年2月伊賀南部環境衛生組合議会第211回定例会を閉会  
いたします。

午前11時36分閉会



議長は、この会議録をつくり、署名者とともに署名する。

議 長

議 員

議 員